

## 健康コラム

## ～花巻のおいしい食材を食卓に～

最近、皆さんの食卓に並んだ食材のうち、地元で採れた食材はどれくらいあったでしょうか。

地産地消とは、読んで字のごとく、自分の住む地元で採れた食材を食べることを意味しています。

地元で採れた食材には、消費者にとって次のような利点があります。

## ■栄養価が高くおいしい！

旬の新鮮な野菜は、ビタミンが多く含まれていて、甘みが強く、栄養価も抜群です。自然が育てたそのままの味わいを楽しむことができます。

## ■安全性を自分で確認できる

地元の食材なら生産状況を確認できるため、安全性を自分の目で確かめることができます。

## ■地域の伝統的食文化を次世代へ

郷土料理や家庭料理に地元の食材は欠かせません。人々の健康をつくってきた伝統的な食文化や思い出深い家庭の味を子どもたちにも受け継いでいくことができます。

## ■環境や経済にも好影響！

地産地消は輸送するエネルギーを大幅に削減できます。また、地域の農業が活気づくので、経済の活性化も期待できます。

花巻のおいしい食材を選んで食べて、体と地域を元気にしましょう！

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)



## 地域おこし協力隊

## 人とのつながりを大切に

～グリーンツーリズム担当 川口 摩弓～

地域おこし協力隊として着任し気付けばはや3カ月。盛岡市出身なので花巻市を訪れたことはありましたが、新たな気持ちで花巻市と出会ったのは、6月の「地域おこし協力隊現地体験ツアー」でした。その時に感じた花巻の風がとても居心地がよく、地域おこし協力隊として活動できることに毎日感謝しながら暮らしています。

さて、グリーンツーリズム担当として着任したものの、まだまだ勉強中の私は、花巻の人、岩手の人、多くの人と触れ合いたいと思いながら過ごしています。倉沢人形歌舞伎を観劇したり、

忍び駒を台湾の人と作ったり、劇団よぐまんづに参加したりして、楽しさや驚きなど心が動くことばかりの毎日です。リノベーションスクールでも新しい仲間との出会いがありました。

そんな花巻市のワクワクを多くの人に伝えていくことが、まずはグリーンツーリズム担当としてできることかと思っています。

不思議なことに過去の経験や出会った人と再びつながっていくことが多く、花巻は私にとって縁結びの場所だと改めて感じています。これからも多くの結びをつくりつつ、花巻へ来ていただけるきっかけづくりをしたいと思っています。



▲リノベーションスクール@花巻のユニットCの仲間たち



▲東和町にある伊藤家住宅にて

## 市民生活コーナー

「差し押さえ」「訴訟」と記載された書面は架空請求に注意

## ■どんな相談があるの？

○「重要」と書かれた封書で「訴訟最終告知のお知らせ」という書面が届いた。書面には自分の氏名と携帯電話番号の記載がある。架空請求として無視してよいだろうか

■注意することは？  
○正式な裁判手続きでは、訴状に「特別送達」と記載し、裁判所名が入った封書を郵便局員が本人に直接手渡すことになってい

■困ったときは？  
○新館市民生活総合相談センター(☎24-2111内線259)へ

し上げます」と記載された書面が届いた。不安に思い連絡したところ、調査費用や延滞料、公正証書代金などの名目で金銭を請求された。このような架空請求に関する相談が後を絶ちません

ます。書面に「給与・不動産・不動態の差し押さえ」「訴訟」「裁判取り下げ最終期日」などと記載されているものは偽物です。封書が届いても書面に記載されている電話番号に連絡を取らないようにしてください

## 花巻市スマート農業推進シンポジウムを開催します

農業の現場では、ロボット技術や情報通信技術の著しい成長により、それらを活用したスマート農業技術が普及し始めています。シンポジウムを通して、スマート農業の有効性や技術導入について、理解を深めませんか。

■申込期限  
2月1日(金)

■開催日時  
2月6日(水)、午後1時30分～4時(午後1時開場)

## ■会場

J A いわて花巻総合営農指導拠点センター(野田335-2)

## ■内容

▼基調講演「スマート農業推進に向けた取組について」(講師は農林水産省大臣官房政策課技術政策室の大熊武さん)▼市内でロボット技術や情報通信技術を導入した結果の検証報告(講師



## 本市のスマート農業推進の取り組み

市では市内4カ所にGPSの基地局を設置し、高精度の位置測位情報を提供できる環境を整えています。

さらに市内農業関係機関で構成する市農業振興対策本部では、最新技術導入の効果の検証や実演会を行い、スマート農業の推進に努めています。

【問い合わせ・申し込み】農政課(☎23-1400)

参加者募集

## 第32回毘沙門まつり・全国泣き相撲大会



- 対象  
平成29年11月1日～30年10月31日生まれの子ども
  - 開催日  
5月3日(金・憲法記念日)～5日(日・こどもの日)
  - 開始時間(1日5回)  
①午前9時30分②11時③午後0時30分④2時⑤3時30分
  - 会場  
三熊野神社(東和町北成島)
  - 定員  
1,000人(先着順)
- ※定員を超えた場合はキャンセル待ち登録になります
- 参加料  
17,000円(※祈祷料・記念品など)
  - 募集期間  
2月1日(金)～10日(日)
  - 申し込み方法  
三熊野神社、市役所本館市民ホール、各総合支所、

観光案内所などに備え付けの申込書に必要事項を記入の上、持参、郵送、ファクス、Eメールのいずれかで下記へ

※申込書は、市ホームページに掲載しています

## ■申込先

全国泣き相撲大会参加受付係(三熊野神社内〒028-0116 東和町北成島5-1 ☎29-4155 ✉mikumano@jupiter.ocn.ne.jp)

※電話での申し込みはできません。平日の午前8時30分～午後5時15分に限り、持参での申し込みを東和総合支所でも受け付けます

## 【問い合わせ】

- ▶全国泣き相撲大会参加受付係(三熊野神社内☎42-3921)
- ▶東和総合支所産業係(☎42-2111内線332)